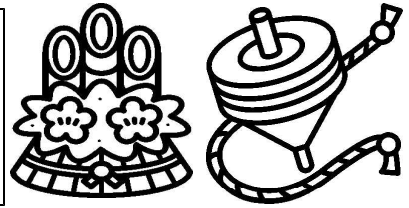


清純・愛郷



「基礎力・思考力・実践力をもち、磨き合って自立に向かう生徒の育成」

～ 元気な生徒 元気な先生 元気な学校 ～ 令和2年1月7日（火）

◇丹波篠山市立西紀中学校 ◇丹波篠山市宮田175 ◇tel 593-0032 ◇fax 593-0041

NO17

飛翔 今年も宜しくお願いいたします。

西紀中学校職員一同

新しい年が始まりました。年があらたまり、何となくあたりがすがすがしく、身が引き締まる思いがします。本日からスタートした3学期が終了すれば、3年生は新しい環境・新しい生活に！そして、他学年の皆さんは1学年進級することになります。短い学期ではありますが、新しい環境・新しい学年へのステップとなるように、充実したものにしてほしいと願っています。そして、7月。半世紀ぶりの日本でのオリンピック開催！また、熱いドラマが展開されることでしょうか！！

さて、本日の3学期始業式。2020年のスタートに際し、20年後の自分の姿を思い描きながら、自分の将来を考えていく機会を持つこと。これからの不透明な社会を生き抜いていくために必要なこと。それは「確かな学力と専門性」「コミュニケーション能力」「自己教育力」「タフな体力・精神力」。また、3学期、優しい心・素直な心・正しい心を育むためにも意識してほしいことを何点かお話ししました。

本校では、来年度より生徒数の減少に伴う教職員数の減少、学年完全1クラス等により、学校運営・学年経営・学校行事を中心に、発想の転換が求められます。これまでの取り組みを継承しつつも、小規模校の現状、様々なニーズに対応できるシステムを構築していく必要が生じています。よって、単年度ごとの取り組みで終わるのではなく、課題を明確にし、3年後の西紀中学校のあるべき姿を捉え、「西紀中学校ドリームプラン」をテーマに、4つの柱からなる3カ年計画をスタートさせます。

教育の分野において、変えていかなければならない部分と、絶対に変えてはならない部分をしっかりと見極めていかなければならないと思っています。忌憚のないご意見・ご指導を宜しくお願い致します。

3 学期の主な行事予定

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1月 7日（火）3学期始業式
新春席上揮毫大会 | 2月 26日（水）学年末テスト ～28日 |
| 8日（水）課題・実力テスト | 3月 6日（金）3年生を送る会 |
| 14日（火）1年スキー学校 ～16日 | 10日（火）卒業証書授与式 |
| 24日（金）生徒会専門委員長選挙 | 12日（木）公立高校一般学力検査 |
| 2月 6日（木）参観日 学年懇談会 | 20日（金）春分の日 |
| 10日（月）私立高校等入試 | 23日（月）給食最終日 |
| 11日（火）建国記念の日 | 24日（火）修了式 |
| 17日（月）公立高校推薦検査 | 25日（水）春季休業日 ～4/6 |
| 23日（日）天皇誕生日 | |



「インフルエンザの猛威がやってくる?!」

平素から予防と体調管理に万全を！

「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉通り、月日の経過が非常に速く感じる時期です。例年、「気がつけば卒業式・・・！」というぐらい、年度末のバタバタの時期を迎えます。お互い時間に流されるのではなく、1日1日を大切にしていきたいものです。

スマホ時代の君たちへ！

～1日中、スマホやネットばかりになっていませんか～



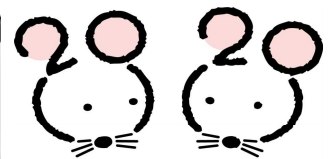
情報通信機器（パソコン・スマートフォン・携帯電話・ipad・ゲーム機器等）は、今や生活する上で非常に便利なツールとなっています。今後、更に進展すると思われる高度情報化社会を生きていくためには、インターネット等の特性を理解するとともに、このような機器を上手く活用していく能力が求められます。つまり、「所持させない」「使わせない」という指導ではなく、「安全に正しく使用していくために」という指導の転換が必要となってきます。現に、本校におきましては、大型テレビ・パソコン・ipad等を使用した授業で、子どもたちの意欲や教育効果を高めています。しかし一方で、誹謗・中傷の書き込み、有害サイトやアプリへの接続、睡眠不足や生活の乱れ、金銭面のトラブル等々、安全面や情報モラル等の問題もクローズアップされています。

本校でも、一昨年度、生徒が中心となって「西紀中学校、情報機器の取り扱いについてのルール」を策定して、生徒への呼びかけを図っています。各ご家庭におきましても、お子様の発達段階に応じて、使用に際しての約束事やルール、フィルタリングサービスの設定、個人情報の保護等々について、指導したり話し合う機会を設定して頂きたいと思えます。

子どもたちの情報活用能力を向上させるとともに、トラブルが起こってしまう前に、「ちょっと待って」と、子どもたちが一歩立ち止まって、自ら判断出来るような危険回避能力も育てていくことが大切です。

情報機器の取り扱いについてのルール

- 1 情報機器の使用は夜22時まで
- 2 使用時間は2時間以内
- 3 自分の情報や他人の情報を漏らさない
- 4 知らない人と連絡を取り合わない
- 5 テスト1週間前はLINEやメールを返さなくていい



HAPPY NEW YEAR!
西紀中学校生徒会

「叱る」って、難しいですよねぇ・・・？

教師も保護者の方も、子どもたちを叱らなければならないことが多いです。でも、叱るって本当に難しいと思います。頭ではわかっているけど、どうしても感情が先行してしまっていて、いつのまにか「叱る」が「怒る」「怒り」に代わってしまっていることが多々ありました。ちょっと反省です。

2年前に、お亡くなりになられた、元ラグビー日本代表チーム監督の平尾誠二さんの本を読んだことがあります。平尾さんは、伏見工業、同志社大学、神戸製鋼で日本一に輝かれ、日本代表チームの監督も務められました。彼の功績は、単に、現在の日本ラグビーの基礎を作られただけではなく、日本のスポーツ界に「いい結果を出すために、自分たちで考えて、自分たちで取り組んで行く！」というスタイルを導入した人物です。

彼は、著書の中で、「叱るための4ヶ条」をあげています。

- 1 その行為のみを指摘し、人格や人間性を否定しない。
- 2 他人や周囲とは比較しない。
- 3 長時間におよばない。
- 4 必ず、どこかでフォローを入れる。



子どもたちの多くは、叱られるとき、何故叱られるのか、何を言われるのかは理解している場合が多いです。そんな時に、必要以上の発言や感情による叱責は、かえって逆効果となります。平尾監督の4ヶ条は、常に頭にとめておきたいですね！